

**沖縄県版キャリア・パスポート（例示資料）**  
**高 等 学 校**  
**（指導者用）**

## 表紙例

# HUB NOTE

～沖縄県版キャリアパスポート～

これは、必ず入れること。



学校独自のネーミングや絵・写真等を入れてアレンジするといいでしよう。

「HUB」とは

情報の受け渡しや人々の活動の拠点となる部分のことである。

このキャリアパスポートが高校生活の学びの中心となり「HUB」のように自らを取り囲む事柄を自分自身の中に取り込むと同時に、考えたり学んだことを他者へ発信する源になることを願い『HUB NOTE』と名づけた。

氏名

このキャリア・パスポートは、みなさん一人ひとりが、自分の学びに見通しを立てたり、振り返ったり、見つめたりすることを繰り返しながら、これからの生き方について考えるためのものです。

私たちは毎日を一生懸命過ごしています。日々の授業だったり、清掃活動だったり、当たり前のことを通して、少しずつ成長しています。もちろん、体育祭や学園祭といった大きな行事では、授業や部活動とは違った力が身についているはずです。でも、その一日一日の成長はものすごく小さかったりするため、その変化に自分自身で気づくことができないことがあります。しかし、自分で何ができるようになったかを把握することは、自分という存在を肯定するための大事な要素です。このキャリア・パスポートは、みなさん一人ひとりが自分自身の成長を記録し認めることで、過去から続く今の自分を、将来の自分へとつなげ、夢や希望をもって生きていくための底力になることを目指しています。

このキャリア・パスポートには、そのときに自分が考えていること、こうしたいと思っていること、できるようになったことなどを記録していきます。自分を大きく見せたり、他人の目を気にしたりする必要はありません。ありのままの自分を記録することが大切です。

このキャリア・パスポートの活用を通して、みなさん一人ひとりが自分なりに、学ぶことや働くこと、生きることを意味を見だし、これからの生き方や将来の自分の役割について考え、自分に自信を持って前向きに生きていくパワーを充電させていくことを期待しています。

みなさん一人ひとりの成長を心から楽しみにしています。

さあ、未来への一步を踏み出そう！

I have a habu now.  
I want to have  by the time I graduate.  
What do you want to have in the future?



## 高校生のみなさんへ

人は、他者や社会とのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きています。これらの役割は、生涯という時間的な流れの中で変化しつつ積み重なり、つながっていくものです。また、このような役割の中には、所属する集団や組織から与えられたものや日常生活の中で特に意識せず習慣的に行っているものもありますが、人はこれらを含めた様々な役割の関係や価値を自ら判断し、取捨選択や創造を積み重ねながら取り組んでいます。

人は、このような自分の役割を果たして活動すること、つまり「働くこと」を通して、人や社会にかかわることになり、そのかかわり方の違いが「自分らしい生き方」となっていくものです。

このように、人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねが、「キャリア」の意味するところです。

変化の激しい社会の中で、主体的に自らの可能性を発揮し、よりよい社会や世界と幸福な人生の創り手となっていくために、みなさんには、キャリア形成の視点から、以下の能力をさらに伸ばしていくことが求められています。

### 《高校生活でさらに伸ばしてほしい能力》

<b>【人間関係形成・社会形成能力】</b> 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力	<b>【自己理解・自己管理能力】</b> 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会と相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力
<b>【課題対応能力】</b> 仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる能力	<b>【キャリアプランニング能力】</b> 「働くこと」を担う意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断しキャリアを形成していく力



具体的に言うと…

<b>【人間関係形成・社会形成能力】</b> 他者の個性を理解する力、 他者に働きかける力、 コミュニケーション・スキル、 チームワーク、 リーダーシップ など 	<b>【自己理解・自己管理能力】</b> 自己の役割の理解、 前向きに考える力、 自己の動機付け、忍耐力、 ストレスマネジメント、 主体的行動など 
<b>【課題対応能力】</b> 情報の理解・選択・処理等、 本質の理解、原因の追究、 課題発見、計画立案、 実行力、評価・改善など 	<b>【キャリアプランニング能力】</b> 学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、 多様性の理解、将来設計、選択、 行動と改善など 

みなさんには、授業や学校行事、部活動などでの様々な体験や学びを通して、これらの能力を自ら成長させることを意識してほしいと思います。

そして、この「キャリア・パスポート」で、高校生活を見通したり振り返ったりしながら、学びの履歴を積み重ねていくことが、みなさんの今後の人生を創っていくための「道しるべ」になることを願っています。



# 一年を見通し、振り返る

1・2・3年

記入は年度始めがよい。

## 【見通し】

記入日 年 月 日

今から  
1年後  
の私

どんな

《シート No1》

そのために今

該当の学年に○をつけて使用。3学期は、02-2の《学期版》と同時に行ってもよい。各学校の実態に合わせて使用する。

- 1年のはじめに、自分のどんな力を伸ばしたいかを考えよう。  
(※紙裏の「高校生のみなさんへ」の中にある《高校生活でさらに伸ばしてほしい能力》等を参考にしてください。)

人間関係形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
<p>考える際には、「高校生のみなさんへ」や「〇〇高等学校のみなさんへ」を見返し、基礎的・汎用的能力や各学校が整理した身に付けさせたい力を意識しながら、具体的に設定することが重要である。</p>		<p>4つすべてについて、伸ばしたい力を設定することが難しい場合も想定される。生徒の実態等に応じて、各校で整理した身に付けさせたい力なども参考に、特に意識して伸ばしたい力をしぼりこむことも考えられる。</p>	
<p>&lt;理由&gt;</p> <p>なぜその力を伸ばすことにこだわるのかを今一度振り返り、整理することが大切である。</p>		<p>&lt;理由&gt;</p>	

## 【振り返り】

記入日 年 月 日

- 1年間を振り返って、一番成長を実感できたことをまとめよう。

(教科学習) 成長を感じたこと		<p>記入は年度終わりがよい。 02-2「学期を見通し、振り返る」の3学期の【振り返り】と一緒に取り組んでもよい。</p>
(教科外活動) 学校行事・係活動・部活動等		
(学校外の活動) 地域活動・家庭内での取組・習い事		

- 1年間を振り返って、自分自身の成長をまとめよう。なりたい自分に近づいていますか。

成長できたところ	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
今後成長したいところ			<p>【見通し】の「伸ばしたい力」の設定と同様の理由から、生徒の実態等に応じて、しぼりこんだ意識して伸ばしたい力について振り返りを行うことも考えられる。</p>	

- 将来の自分自身を想像しよう。

今から 1年後 の私	どんなふうになりたいか	そのために今から何をするか
30歳 の私		

( )からのメッセージ	<p>クラス内の人間関係が上手くいっていることが前提になるが、友人からのコメントも大きな効果が期待できる。</p>
先生からのメッセージ	<p>友人、保護者、部活動の顧問等、メッセージをもらう相手を生徒が主体的に選ぶという工夫も考えられる。</p> <p>メッセージを読んで気づいたこと、考えたこと</p>
<p>面談等で本紙を保護者に見てもらうことで、教員・保護者が共通の生徒理解を図るといった活用も考えられる。</p>	

# 学期を見通し、振り返る

1・2・3年 1・2・3学期

## 【見通し】

### 《シート No2》

○「一年を見通し、振り返る」の目的は、伸ばしたい力をつけるために、1学期の間に、特に心がけて取り組もう(自分なりに努力してみよう)と思っていることをまとめること。

(教科学習) 何を意識して取り組むか?どのように取り組むか?

全ての教科を網羅的に書くものではない。  
どの教科を書くかで志向が表れる。

該当の学年・学期に○をつけて使用。  
3学期は、02-1の《年間版》と併用してもよい。  
各学校の実態に合わせて使用する。  
上段の【見通し】は学期初めに記入  
中段の【振り返り】は学期終わりに記入

(教科外活動) 学校行事・係活動・部活動等

事前指導において、特に今学期に何があるのかを  
生徒に周知し、イメージを持たせる必要がある。

(学校外の活動) 地域活動・家庭内の取組・習い事

生徒の経験や気づきに対する評価であってはならない。  
教師からのメッセージは、あくまでも、生徒の「心の動き」  
を生み出すための一つのきっかけである。

先生からのメッセージ

教師が生徒の反応を予期しながら言葉をかけることに、「教師が対話的に関わる」ことの意義がある。

先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと

生徒の学びや気づきの深まり・広がりを記入する欄  
として位置付けている。

## 【振り返り】

担任以外、例えば部活動顧問などからのメッセージも考えられる。

記入日 年 月 日

○今学期を振り返って、自分なりに取り組んできたことや、よかったと思うことをまとめよう。

(教科学習) どの様に取り組んできたか?

どのような力がついたと思うか?何ができるようになったか?

記入は学期終わりがよい。  
02-1「一年を見通し、振り返る」  
の【振り返り】と一緒に取り組ん  
でもよい。

(教科外活動) 学校行事・係活動・部活動等

(学校外の活動) 地域活動・家庭内の取組・習い事

先生からのメッセージ

先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと

# 卒業年度を見通し、振り返る

Aは3年4月、Bは3年9月、  
Cは3年2月ごろを記入の  
目安とする。

3年

## 【見通し】

### 《シート No3》

○10年後の自分 記入日 年 月 日

どんなふうになりたいか（目指す進路や目標）

A

次の年度（高等学校の次の段階）の  
4月を見据えたうえで、年間の取組  
を計画する。

○卒業後の進路に向けて、いつ、何に取り組むかを考えよう。

4月 7月 9月 11月 1月 3月 4月

卒  
業

A

社会に出て仕事を行う上でも、このように目標を設定し、目標達成のための手立てを検討のうえ実行し、振り返りを行うことが重要であることを意識させることが大切である。

就職試験 専門学校入学試験 大学入学共通テスト オープンキャンパス 進学就職相談会  
部活引退 体育祭・文化祭・学園祭 三者面談 AO入試・推薦入試・一般入試 その他

記入日 年 月 日

具体的に何に取り組むか・どの様に取り組むか

進捗状況 出来ていること（9月頃）

進捗状況 これからやるべきこと

A

B

B

年度の途中に一度、設定した目標や取組の状況を確認し、必要に応じて目標や取組の修正を行う。  
なお、修正が必要な場合には、余白部分に後から自分自身が見返しても分かるように記載すること。

## 【振り返り】

○1年間の取組みを通して学んだことや成長したことを書こう。 記入日 年 月 日

学んだこと・成長したこと

取組み

02-05「小学校から高等学校までを振り返る（2）」  
と一緒に取り組んでもよい。

C

○10年後の自分を想像しよう。将来どんな生き方をしたいか

C

本シートは、02-01「一年を見通し、振り返る」3年、  
02-02「学期を見通し振り返る」3年1学期と合わせ  
て取り組んでもよい。また、取組ずらして時期を行っ  
てもよい。学校の実態に応じて、実施する。

先生からのメッセージ

先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと



# 小学校から高等学校までを振り返る（１）

3年 7月

## 《シート No4》

○自分自身の「足跡」をまとめよう 記入日 年 月 日

（小学校）	一番心に残っていること	自身の成長にどのように影響したか
（中学校）	小・中学校で自ら作成した「キャリア・パスポート」も参考にしながら、これまでの「足跡」を整理し直す。取り上げる事柄は小・中学校と同じであっても、より深い振り返りができていることを実感してほしい。	本シートは、就職・進学に向けた志願理由書等の作成に当たってのラフスケッチ的な位置づけとしても活用できる。
（高等学校）		

○自分自身の「現在（今）」と「将来」についてまとめよう。

	関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
自分のよさ・強み	高校生活でさらに伸ばしてほしい能力として示した4つを手がかりに、自分の強みをより具体的に整理する。それらの能力が発揮できる卒業後の進路や生き方を見通していくことにつなげてほしい。			
成長させたいところ				
卒業後の進路				
将来、社会にどのように貢献していきたいか				
将来、どういう生き方をしていきたいか				
先生からのメッセージ			先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと	

# 小学校から高等学校までを振り返る（２）

3年 2月

○自分自身の「現在（今）」と「将来」について

## 《シート No5》

	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	キャリアプランニング能力
自分のよさ・強み			
成長させたいところ			
<p>7月には気づかなかったことに、あらためて気づくことも考えられる。 卒業を目前にして、より社会とのつながりを意識して「振り返り」と 「将来の目標」を記入させることが大切である。</p>			
卒業後の進路			
将来、社会にどのように貢献していきたいか			
将来、どういう生き方をしていきたいか			

## 未来宣言！

文章で書いたり、箇条書きにしたり、標語のように表現したり、様々な表現方法があつてよい。自分自身の言葉で表現することが大事である。  
但し、前向きな表現で記入することが大切である。

先生からのメッセージ

先生からのメッセージを読んで気づいたこと、考えたこと

※学校に既存の様式があれば、そちらを活用してもらってもかまいません。

他の学校行事とは異なり、働くことに関する活動は別様式を設定。

## 就業体験・インターンシップについて（働くことに関して）

### 【事前】

記入日 年 月 日

受入先	体験先選定の理由
生徒自身が職場を開拓した場合に、この欄を活用する。選定理由を自分自身の言葉で整理することが重要である。学校割り当てで実習先を決めた場合は、削除してもよい。	
受け入れ先の事業の方々は何のために働いていますか。	
あなたは将来何のために働きますか。	
就業体験・インターンシップを通じて、身につけたい力は何ですか。	

### 【事後】

記入日 年 月 日

①受け入れ先の方々は、何のために働いていましたか。何にやりがいを感じていましたか。
②あなたは今、何のために働こうと思っていますか
事前・事後に「働くこと」そのものに関する問いに向き合ってもらうことで、生徒自身が自己の変容に気づいてほしい。
③就業体験・インターンシップを通して身についた力は何ですか。
④就業体験・インターンシップを通して将来に向けて今頑張ることは何だと思いますか。

### 受入先からのアドバイス

学校の外の方からの目線で、良いことだけでなく、改善すべき点についてもコメントをもらうことで、生徒自身が今後の自己の在り方を考えるきっかけにしてほしい。学校独自の様式に記入していただいたコメントを書き写してもよい。

### 先生からのメッセージ

受入先からのアドバイス・先生からのメッセージを読んで考えたこと

※学校に既存の様式があれば、そちらを活用してもらってもかまいません。

体育祭や文化祭、修学旅行、ボランティア活動等、生徒の伸ばしたい力の育成に重要な行事等を整理する様式として設定。

〇〇について（学校行事等）

〇年

あなたはこの学校行事に取り組むことで、どのような力を身につけることができると考えますか。身につけることができると思う力すべてにチェックをつけてみよう。

- ☐ コミュニケーション能力
- ☐ 自己表現力
- ☐ 主体性
- ☐ 協調性
- ☐ チャレンジ精神
- ☐ 課題発見力
- ☐ 軌道修正する力
- ☐ 前向き
- ☐ 他者を認める力
- ☐ リーダーシップ
- ☐ 忍耐力
- ☐ 自己管理
- ☐ 自己管理能力
- ☐ 先を見通す力
- ☐ ストレス耐性
- ☐ 改善力
- ☐ その他（ ）

学校行事等にきちんと取り組むことでどんな力がつくかを生徒自身が確認することが大切。その中から特にどの力を伸ばしたいのかを生徒自身に意思決定させていく。行事等が終わるまで意識させるため、ときどき声かけを行うと効果的

【事前】

記入日 年 月 日

〇〇を通して特に身につけたい力、心がけて取り組もう（自分なりに努力してみよう）と思っていること	
そう思った理由	具体的に行動しようと思っていること

【事後】

記入日 年 月 日

今回の体験・経験で最も心に残っていること	理由
自分なりに取り組めたこと、よかったと思うこと	
〇〇を通してできるようになったこと・身についた力	
今後に生かしていきたいこと・今後も継続して取り組みたいこと	
<div>（ ）からのメッセージ</div> <div>例えば、ボランティア活動などについては、活動先の方からコメントをもらうことも考えられる。また、学校行事では、特に共に活動を行った友人からメッセージをもらうことが、生徒本人にとって大きな効果を与えることも期待できる。</div>	
先生からのメッセージ	メッセージを読んで気づいたこと、考えたこと

※学校に既存の様式があれば、そちらを活用してもらってもかまいません。

他の授業や学校行事とは別に、「総合的な学習（探究）の時間」の取組について、見通しを持たせ、振り返りを行う様式として設定。

## 「総合的な学習（探究）の時間」（課題研究等）について

○年

### 【事前】

ここでの「課題研究等」とは、専門学科において、「総合的な探究時間」の代替となるものを指しています。

「探究」テーマ（「課題研究」テーマ）

テーマ選定の理由

取組を通じて特にどんな力を伸ばしたいか

<理由>

### 【事後】

特に、事後にまとめた内容については、大学等に提出する活動報告書の内容にも反映できる。

記入日 年 月 日

探究した内容の概要（取組の流れや取組を通じて新たにわかったこと など）

取組の過程で感じたこと・考えたこと（うまくいったことやそのときの気持ち、失敗したことやそこから学んだこと など）

取組を通じてどんな力が伸ばせたか（成長したところ）

事前に掲げた目標（どんな力を伸ばしたいか）に対して、事後に掲げた目標についてどうだったのかをしっかりと振り返ることが大切である。

探究活動の結果、新たに生まれた疑問や探究テーマ等

調べたこと、活動したことをまとめて終わりではなく、「探究すること」が新たな問いの発見につながることを意識してほしい。

先生からのメッセージ

メッセージを読んで気づいたこと、考えたこと